

長老会員の懇親会

残暑どころか異常な猛暑の続く 8 月 26 日の日曜日、夏の恒例行事の「還暦を過ぎた会員の懇親会」が浦和東武ホテルで開催された。今年還暦を迎える 18 回生迄の長老会員が実に 38 名も元気に集まった。

浦高ソフトテニス麗和会は平成 8 年に設立されたが、当初は会員の関心も高く順調に進展したが、一層の発展のためには近い世代の仲間が誘い合い行事に参加する仕組みが必要で、平成 10 年の 8 月に 6-10 期の懇親会を浦和の割烹「千代田」で開催し、16 名の仲間が集まった。

浦高卒業以来 40 数年ぶりの再会あり、あまりの変わり方に啞然とするものあり、それぞれの近況や浦高時代の思い出、健康・孫の話など、実に愉快的な会合で 6 時間に及ぶ大宴会となった。参加者全員一致で毎年の開催が決まり、毎年還暦を迎える世代を招きながら 8 月の最終日曜日に夏の恒例行事として定着、10 年間継続してきた。

10 回目に当たる今回は 6 回以前の方々もお招きしたが、最長老の名古屋さん(中 46)を始め、市川(高 4)・田中(5)の両先輩に参加頂いた。第 1 回の会合後、脳梗塞で倒れ奇跡的に回復した黒木氏が岡崎から車椅子で参加し同期(8 期)の仲間 7 人が暖かく迎え、又名古屋から忙しいなか日帰り参加の中川氏を囲む 12 期の皆さん、初参加の 18 期生は遠く帯広から駆けつけた松井氏を含め 4 人の方々、実に数十年ぶりの再会とか。他にも団欒の輪が広がり充実した一タだった。

最近、メールによる会合の案内や通知が多くなった。確かに便利だが何か事務的で心が通わないと思うのは私だけだろうか。

今回 38 名と大勢の方が参加されたのは、幹事の入念な準備と毎年 1 回ではあるが 10 年間続くこの会合に「温もり」が感じられるのではないだろうか。大事にしたいと思う。

今回の幹事は 15 期の村松氏と前年初参加の 17 期の石田氏と黒澤氏、大変ご苦労様でした。

尚、当日の参加者は文中の方々以外に下記の通りです。

半田・川北(6 期)・秋山・松田(7)阿部・榎本・小倉・加納・黒田・金山・服部(8)・池田・西村(9)・村田(10)・野口・結城(11)・江口・嶺・山田・福島(12)・佐々木(13)・宮下(15)・田熊(16)・浦田・倉林・茂木(18)柴崎理事長(22) 一敬称略一

五十嵐(6) 記



黒木実氏を囲む 8 期の皆さん